

第63回全国七大学総合体育大会

競技要項

競技名 空手道部・男子

令和 6年 4月 17日 改訂

1、大会名称	第63回全国七大学総合体育大会 空手道 の部
2、主催	名古屋大学体育会（大会主幹）、北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学体育会、京都大学体育会、大阪大学体育会、九州大学体育総務委員会
3、主管	名古屋大学体育会
4、参加大学	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
5、大会期間	令和6年7月14日（日）
6、開催会場	名古屋大学第一体育館および第二体育館
7、参加資格	<p>1 競技種目に参加する競技団体に所属する学生は、エントリー書類に必要事項が記載されていなければならない。</p> <p>2 正式種目の本戦に出場する選手は、本大会に参加する大学に所属し、当該大学に入学してから4年以内の学生でなければならない。但し、競技種目会議が認め、実行委員会が定める期限までに当該競技種目の種目委員から実行委員会へ報告があった場合、この限りではない。</p> <p>3 前項の規定にかかわらず、実行委員会は、競技種目会議が行った正式種目の本戦に出場する選手の認定について、これが不相当と判断した場合、運営委員会の議決を経て取り消すことができる。</p> <p>4 旧帝国大学に所属しており、かつ全日本学生空手道連盟に登録後4年以内の者。</p>
8、大会形式	男女ともに、七大学による総当たり戦
9、試合形式	<p>（1）本大会は全日本学生空手道連盟競技規定・審判規定及び本大会申し合わせ事項に則って行う。</p> <p>（2）組手試合は1分30秒のフルタイムとする。6ポイント差がついた時点で試合終了とし、競技終了時にポイントが多い方を勝者とする（先取制度採用）。引き分けの場合、判定は行わない。</p> <p>（3）団体戦の勝敗決定方法</p> <p>①勝利数が多いチームを勝ちとする。</p> <p>②勝敗数が同じ場合、全試合合計の得失点差によって勝敗を決する。</p> <p>③得失点差も同じ場合は引き分けとし、代表戦は行わない。</p> <p>団体戦は勝敗が決しても全試合行う。</p>

10、競技規則	<p>(1) 本大会は全日本学生空手道連盟競技規定・審判規定及び本大会申し合わせ事項に則って行う。</p> <p>(2) 組手試合は1分30秒のフルタイムとする。6ポイント差がついた時点で試合終了とし、競技終了時にポイントが多い方を勝者とする(先取制度採用)。引き分けの場合、判定は行わない。</p> <p>(3) 団体戦の勝敗決定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①勝利数が多いチームを勝ちとする。 ②勝敗数が同じ場合、全試合合計の得失点差によって勝敗を決する。 ③得失点差も同じ場合は引き分けとし、代表戦は行わない。 <p>団体戦は勝敗が決しても全試合行う。</p>
11、競技進行予定	<p>08:00 開場</p> <p>08:20 審判会議 08:35 監督会議</p> <p>09:00 開会式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会宣言 2. 大会会長挨拶 3. 優勝杯返還 4. 審判長注意 5. 選手宣誓 6. 諸注意 <p>09:45 競技開始</p> <p>12:15 昼休み 13:00 形演舞 13:30 競技再開</p> <p>16:30 競技終了 17:00 閉会式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成績発表 2. 次期開催大学挨拶 3. 閉会宣言
12、総合順位決定法	<p>7チーム総当たりのリーグ戦を行い、以下の①～⑥の順で順位を決する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①勝利数が多い大学を上位とする。 ②敗北数が少ない大学を上位とする。 ③直接対決で勝利した大学を上位とする。 ④全試合の勝利選手数の合計が多い大学を上位とする。 ⑤全試合合計の得失点差が大きい大学を上位とする。 ⑥上記で決まらない場合は同順位とする。
13、表彰	優勝、準優勝、第3位
14、その他	